

景気動向調査

藤枝商工会議所管内 中小企業景気動向調査結果概要

今期 全産業の景況・売上・経常利益の3部門 2期連続マイナス幅縮小

調査時期：平成25年4月～6月
 調査対象企業数：200社
 回収数・率：168社 83.5%

今回の調査では、企業の景況感を示す業況判断指数(DI値)は全産業で▲29.5となり、2期連続改善した結果となった。特にサービス業はマイナス幅が9.9ポイント改善し、建設業・製造業ともに改善傾向にある。

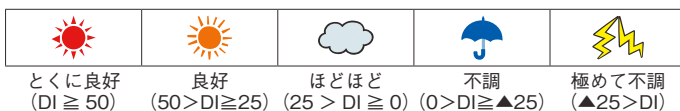
一方、来期の見通しについては、製造業・サービス業ともに業況・売上・経常利益共の3部門ともマイナス幅が拡大し、先行き不透明感が拭い切れない結果となった。設備投資状況は、34事業所で設備を導入したという回答があり、中でも車両運搬具の導入が15事業所と最も多かった。

今後の設備導入計画をしている事業所は34事業所でそのうち、製造業の生産設備導入が5事業所であった。

経営上の問題点

- 建設業：①請負単価の低下 ②民間需要の停滞
- 製造業：①需要の停滞 ②原材料価格の上昇
- 卸売業：①需要の停滞 ②販売単価の低下・上昇難
- 小売業：①需要の停滞 ②販売単価の低下
- サービス業：①利用者ニーズの変化への対応 ②需要の停滞

景況天気図 (平成25年4～6月期)



	前期 25.1～3月	今期 25.4～6月	来期見通し 25.7～9月	前期 25.1～3月	今期 25.4～6月	来期見通し 25.7～9月	前期 25.1～3月	今期 25.4～6月	来期見通し 25.7～9月
建設業			製造業			卸売業			
業況	☔ ▲21.9	☔ ▲14.7	☔ ▲16.1	⚡ ▲41.9	⚡ ▲37.5	⚡ ▲43.3	⚡ ▲35.5	⚡ ▲46.4	⚡ ▲28.0
売上	⚡ ▲35.5	⚡ ▲29.4	☔ ▲21.9	⚡ ▲43.8	⚡ ▲41.9	⚡ ▲45.2	⚡ ▲48.4	⚡ ▲36.7	⚡ ▲33.3
経常利益	⚡ ▲29.0	⚡ ▲31.3	⚡ ▲34.4	⚡ ▲53.1	⚡ ▲26.5	⚡ ▲54.3	⚡ ▲29.0	☔ ▲20.7	☔ ▲13.3
小売業			サービス業			全産業			
業況	⚡ ▲28.6	⚡ ▲35.1	⚡ ▲27.0	⚡ ▲27.0	☔ ▲17.1	⚡ ▲25.7	⚡ ▲30.7	⚡ ▲29.5	⚡ ▲27.8
売上	⚡ ▲32.4	⚡ ▲34.2	⚡ ▲36.8	☔ ▲24.3	☔ ▲8.6	☔ ▲20.0	⚡ ▲36.3	⚡ ▲27.5	⚡ ▲30.6
経常利益	⚡ ▲40.5	⚡ ▲36.8	☔ ▲23.7	⚡ ▲32.4	☔ ▲11.8	☔ ▲20.0	⚡ ▲36.9	⚡ ▲28.0	⚡ ▲30.1

